

平成29年度栃木県学校給食優良学校等表彰について

このことについて、過日実施いたしました審査会の結果、下記のとおり被表彰校等を決定いたしました。

この表彰は、学校給食実施上、優れた成果をあげてきた学校及び学校給食共同調理場並びに学校給食に特に功労のあった個人及び団体等を、栃木県教育委員会教育長が表彰するものです。

なお、表彰式は12月19日（火）に開催する第12回栃木県健康教育研究大会の中で執り行います。

記

1 栃木市立寺尾小学校給食共同調理場

【功績概要】

地域の生産者で構成される「寺尾学校給食農産物供給会」と連携し、地域の農産物を積極的に活用した学校給食の提供と食育の推進を図っている。また、食に関する指導に係る全体計画のもと、特別活動等を通して学校と家庭・地域が連携した食育を実践している。

栃木市の衛生管理の方針や栄養教諭の指導の下、栄養管理及び衛生管理が適正に管理された学校給食を小中学校へ提供している。

2 樽井 圭子 氏（宇都宮市立五代小学校 校長）

【功績概要】

宇都宮市教育委員会事務局の指導主事や小学校長等、様々な立場において、長年にわたり宇都宮市の学校給食や食育の充実に尽力した。

また、文部科学省主催による「これからの養護教諭・栄養教諭のあり方に関する検討部会」の栄養教諭ワーキンググループ担当委員として参加した。

3 伊東 美華 氏（栃木市立栃木中央小学校 栄養教諭）

【功績概要】

平成25年度、文部科学省から県教育委員会が委託を受けて実施した「栄養教諭を中核とした食育推進事業」において、中心的に実践協力した。その内容は県教育委員会発行の「食に関する指導実践事例集」に掲載され、県教委主催の研修会等で発表するなど食育・学校給食の充実に貢献している。

4 谷中 恵子 氏（県立南那須特別支援学校 栄養教諭）

【功績概要】

特別支援学校における学校給食摂取基準作成委員として作成した栄養摂取基準に合った献立作成を常に心がけ、各学年ごとの成長曲線の結果から、適切な栄養摂取ができていないか評価を行っている。また、食に関する指導の中核的な役割を果たしており、特に食物アレルギー対応の校内研修を実施し、学校全体で取り組むことができるよう全教職員への理解を促している。

5 麻生 和枝 氏（栃木市大平学校給食センター 栄養士）

【功績概要】

平成27年度には「栄養教諭等によるスポーツ栄養指導推進事業」に栄養教諭として協力し、下都賀地区学校体育連盟や学校栄養士研究協議会の研修会で講師を務め、地区の教員や栄養教諭・学校栄養職員のスポーツ栄養指導の推進が図られた。

定年退職後も栃木市大平学校給食センターの栄養士として、食物アレルギー対応が円滑に行えるよう対応食品を増やすための体制整備、保護者との面談や学校との連携等、食物アレルギー対応の中心的な役割を担っている。